

# LUCY-5 用

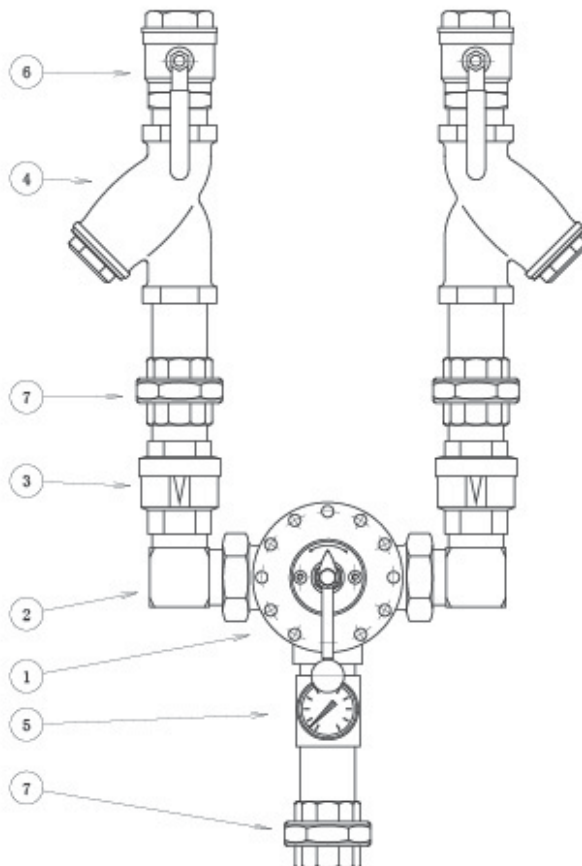
## メンテナンス ガイド

ご使用中のユニットのメンテナンスについて、症状別にメンテナンス方法をご案内いたします。メンテナンスにつきまして、十分安全に配慮し行ってください。また、下記の点は特に注意して作業を行ってください。

**⚠️ ユニット用メンテナンスバルブを閉にして下さい。**

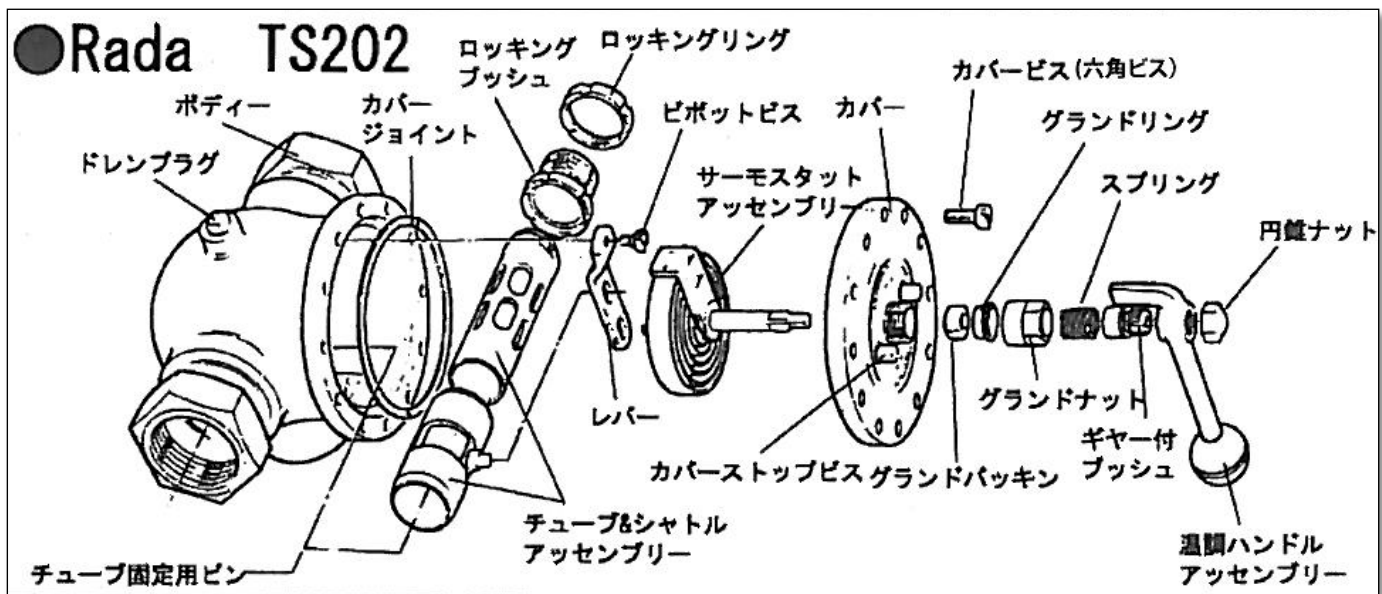
**⚠️ ユニット内の残圧が残っていないか確認して下さい。**

**⚠️ 配管が高温になっている場合があります、ご注意ください。**



⑦	ユニオン
⑥	ボール弁
⑤	温度計
④	ストレーナー
③	逆止弁
②	入口継手
①	RADA ミキシングバルブ
符号	名称

## 内部部品構造



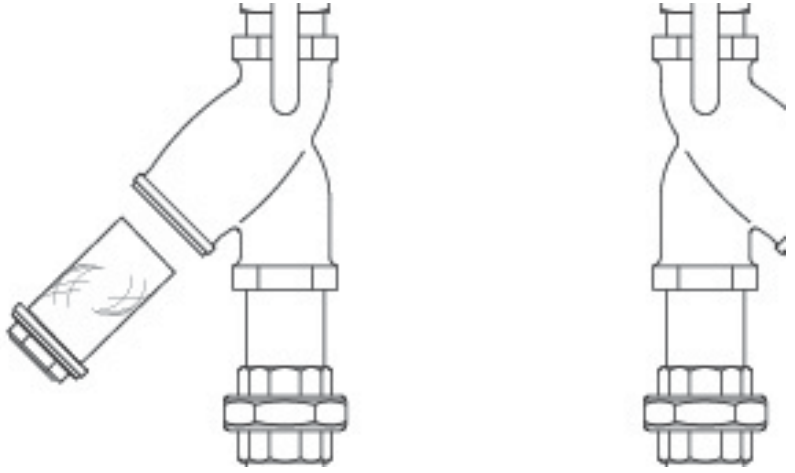
「RADA ミキシングバルブ」主要部品は3点で構成されています。

- ①「サーモスタットアッセンブリー」は温水温度に感知し、給湯・給水の混合割合を制御する部品（チューブ&シャトルアッセンブリー）を動かす部品です。
- ②「チューブ&シャトルアッセンブリー」は、給湯と給水の混合割合を制御する部品です。（上記アッセンブリーは、チューブとシャトルの2点で構成されています。）

「チューブ&シャトルアッセンブリー」は表面にテフロンニッケルコーティングを施し、対摩耗性・摺動性に優れていますが、長年のご使用で「チューブ」と「シャトル」の隙間が大きくなると混合割合を制御できなくなります、また「サーモスタットアッセンブリー」も損耗することは避けられません。

しかしこれらの部品を交換することにより「RADA ミキシングバルブ」は初期の性能を回復することが出来ます。

# 日常点検

	定期点検事項	対処
①	給湯圧力・給水圧力の確認 ☆定期的に点検ください。	ご使用条件から外れている場合は、調整してください。
②	ストレーナーにゴミ等が詰まっていないか？  ☆定期的に点検ください。	プラグを外し、中のスクリーンを清掃してください。  

## 目次

- 手順1・・・サーモスタットアッセンリー取り外し方法。
- 手順2・・・サーモスタットアッセンブリー組立方法。
- 手順3・・・最高温度設定方法。
- 手順4・・・チューブ&シャトルアッセンブリー確認方法。
- 手順5・・・チューブ&シャトルアッセンブリー交換方法。
- 手順6・・・逆止弁作動確認の方法。

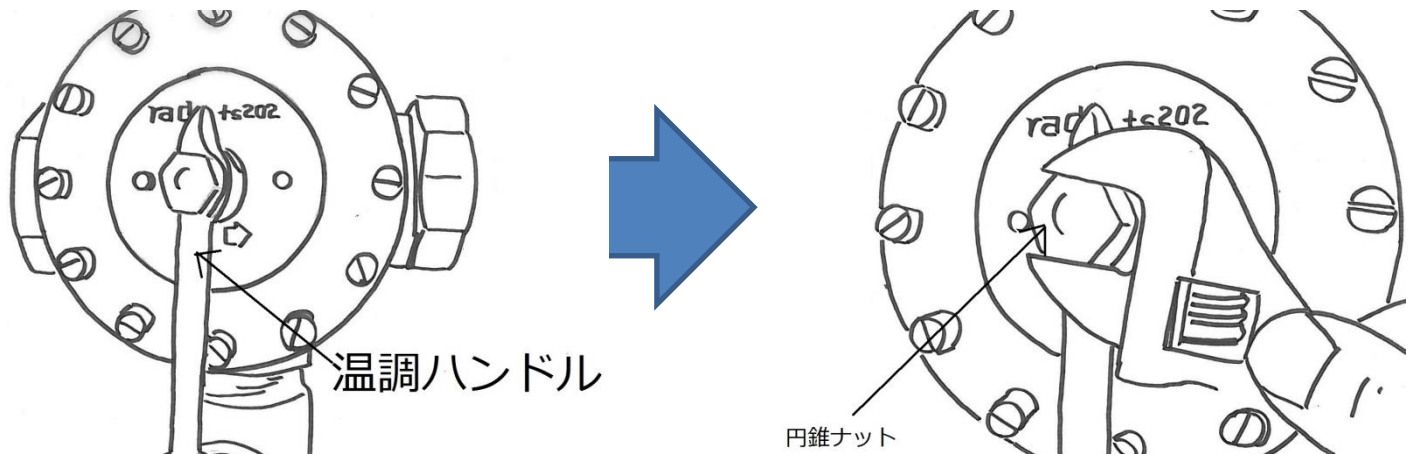
# 故障診断

	症状別項目	メンテナンス内容	参照手順
①	温調ノブ部分から漏れがある。	・漏れがある場合は、グランドパッキンの増し締めか交換が必要です。	手順 1～3 (P5～P8)
②	温調ノブが動かない。	サーモスタットアッセンブリーのスピンドルの固着か内部部品の固着があります。	手順 1～3 (P5～P8)
③	希望の温水温度が得られない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレーナーのつまりの確認をして下さい。</li> <li>・供給条件を確認して下さい。</li> <li>・最高温度の再設定をして下さい。</li> <li>・内部部品固着又は劣化の可能性があります。</li> </ul> 内部部品の清掃又は交換して下さい。	手順 1～5 (P5～P11)
④	希望の温水量が得られない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレーナーのつまりの確認をして下さい。</li> <li>・供給条件を確認して下さい。</li> <li>・内部部品固着又は劣化の可能性があります。</li> </ul> 内部部品の清掃又は交換して下さい。	
⑤	温調ノブを右、左に動かして、温水温度を変えることが出来ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレーナーのつまりの確認をして下さい。</li> <li>・内部部品固着又は劣化の可能性があります。</li> </ul> 内部部品の清掃又は交換して下さい。	
⑥	給水側の配管が熱くなったり、給湯側の配管が冷たくなっている。	・逆止弁の逆流の可能性があります。	手順 6 (P12)
⑦	適温になるのに時間がかかる。	・逆止弁の逆流の可能性があります。	
⑧	温度計が正しい温度を示さない。	・温度計を交換して下さい	

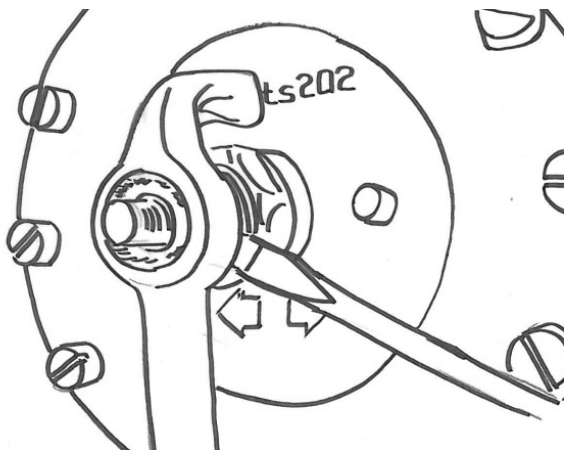
# 手順 1

## ・サーモスタットアッセンブリ取り外し方法

(内部部品の交換時・温調ハンドル部からの漏れ・温調ハンドルが動かない場合など)



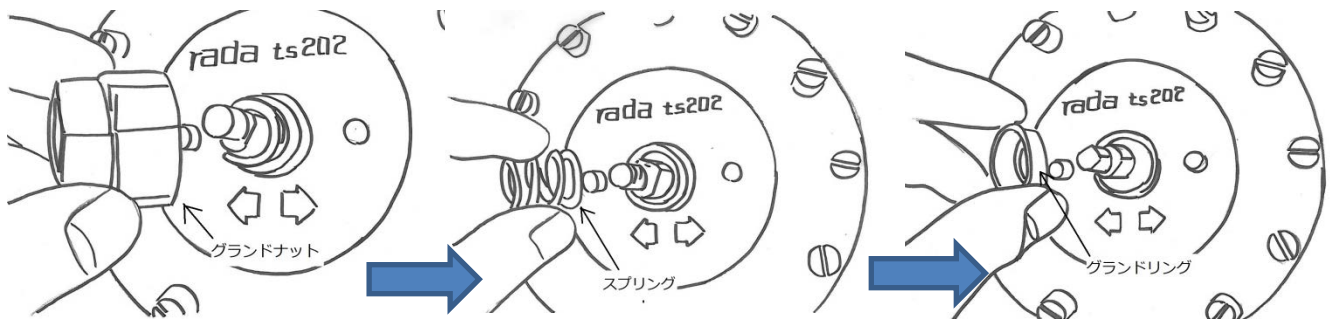
①温調ハンドルを固定している「円錐ナット」を取り外してください。



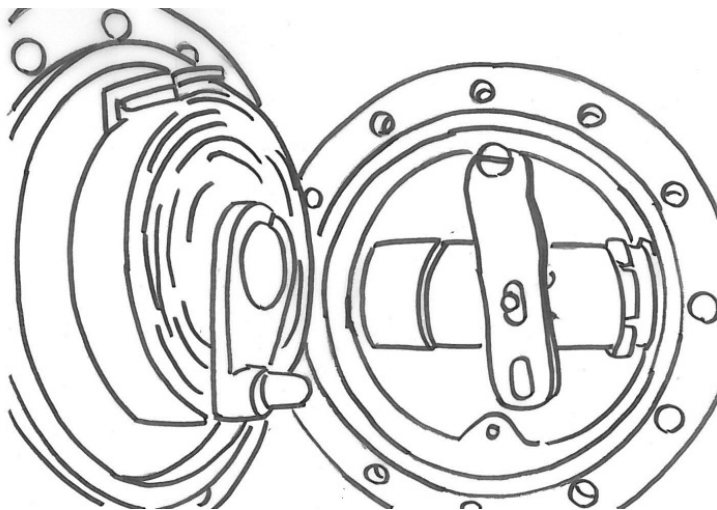
②温調ハンドルを取り外して下さい。  
通常は手前に抜き取れますが、カミ込んでいる場合がありますので、マイナスドライバーなどで少しずつ抜き取ってください。



③ギヤー付ブッシュを取り外して下さい。  
ギヤー付ブッシュが温調ハンドル側にカミ込んで残っている場合は、プラスチックハンマーなどで抜き取って下さい。



- ④「グランドナット」・「スプリング」・「グランドリング」の順に取り外して下さい  
※スピンドル部より漏れがある場合は、グランドナットを漏れが止まるまで徐々に増し締めを行って下さい。締めすぎると温調ハンドルが操作できなくなりますのでご注意ください。  
それでも止まらない場合は、グランドパッキンの交換が必要です。

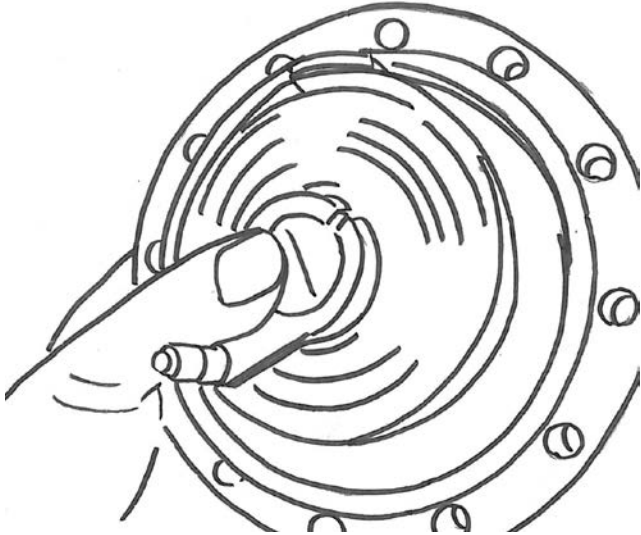


- ⑤カバービスを外しカバーを外して下さい。
- ⑥取り外したカバーの外側から内側へスピンドルを押し出して下さい。(サーモスタットアセンブリが取り外すことができます)古いスピンドルシールを取り除き、残渣が残らないように取り除いて下さい。そして新しいものと交換して下さい。  
注) 古いスピンドルシールのカスが残らないようにご注意ください。

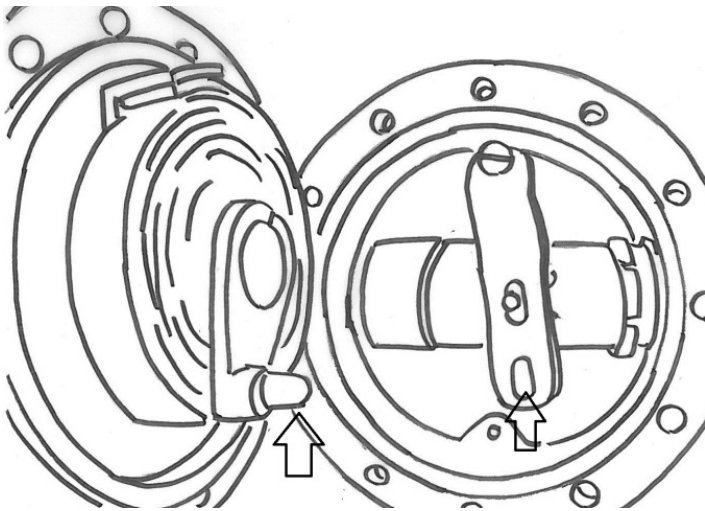
## 手順 2

### ・サーモスタットアセンブリーの組立方法

(サーモスタットアセンブリーのグランドパッキン交換・サーモスタットアセンブリー交換時など)



- ①サーモスタットアセンブリーをカバーの内側から押し込んでください。  
※サーモスタットアセンブリーのスピンドル部分にシリコン製グリスを適量塗布してください。



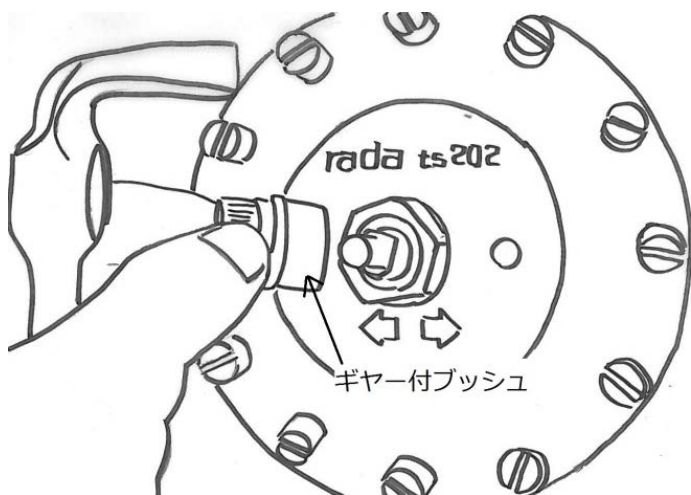
- ②カバーパッキンを取り付けたのち（古いパッキンの残渣が残らないように取り除いて下さい。）  
サーモスタットの矢印の軸と内部レバーの矢印の楕円形の穴にはまる様に取り付けて下さい。  
そしてカバービスを均等に締め付けて下さい。
- ③スピンドルパッキンを装着後「グランドリング」・「スプリング」・「グランドナット」の順に取り外して下さい。  
グランドナットを漏れが止まるまで徐々に増し締めを行って下さい。締めすぎると温調ハンドルが操作できなくなりますのでご注意ください。

## 手順 3

### ・最高温度設定方法

(内部部品交換後の温度設定時など)

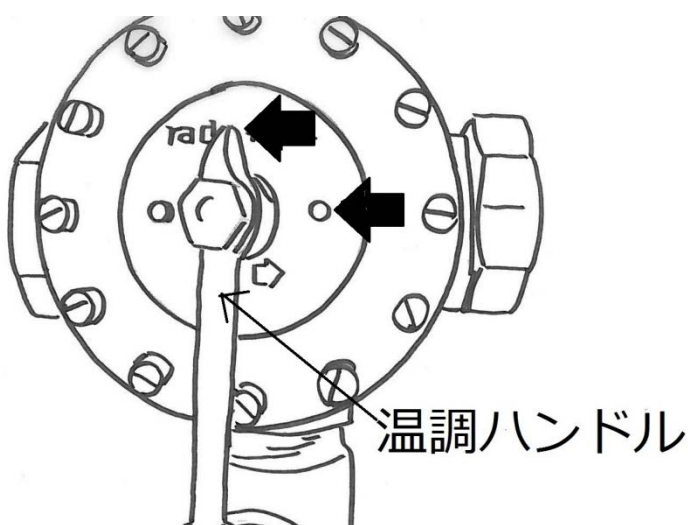
※誤って温調ハンドルを高温側に操作しても設定温度範囲以上の高温が出ることがない温度です、通常運転の設定温度ではありません。



①最初に低温側にサーモスタットアッセンブリーのスピンドルを左側（低温側）に回して下さい。

②温水を出しながら、スピンドルを少しずつ右に回し希望する最高温度にした後、ギヤ付ブッシュを取り付け下さい。

(サーモスタットのスピンドルは「かまぼこ型」の形状になっています、ギヤ付ブッシュのさし込み穴も同様の形状になっていますので確認して取り付け下さい。(1方向しかはめ込みことが出来ません。)



③温調ハンドルの矢印の部分とカバーの矢印の部分とが左いっぱい当たって回らない様にスプリングを入れ温調ハンドルを取付け下さい。

④その後何度か温調レバーを操作し適切な温度になっていることをご確認ください。



## 手順 4

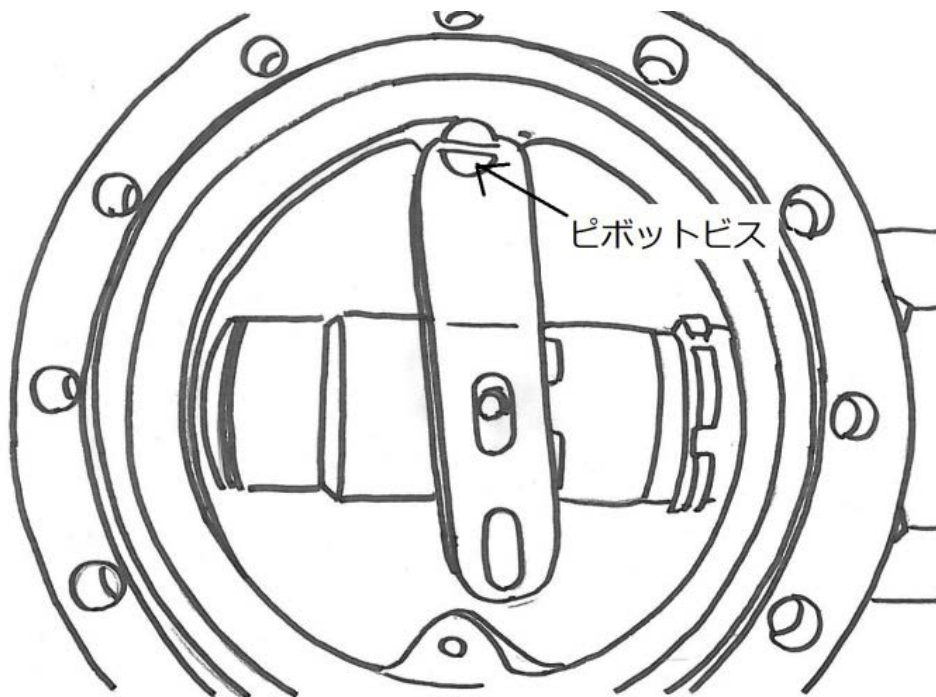
### ・チューブ&シャトル アッセンブリー確認方法。

(温調ハンドルが動かない・希望する温水温度・温水量が得られない・混合音が大きくなった場合)

①手順1の通りカバーを取り外し「サーモスタットアッセンブリー」にスケールの付着や破損がないか確認して下さい、ある場合は手順2の通り清掃もしくは交換して下さい。

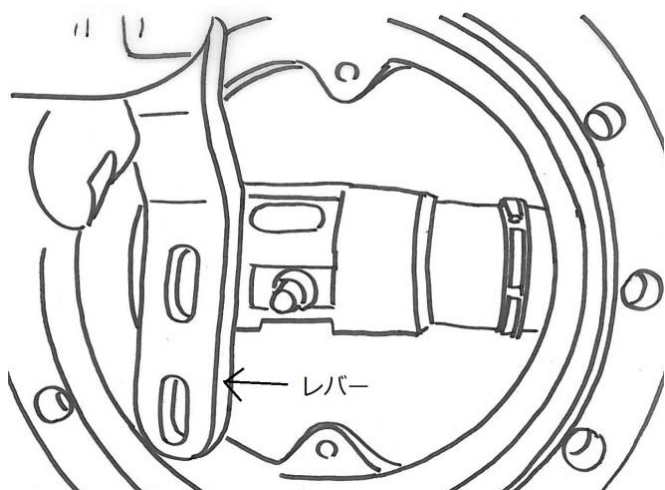
②内部レバーを動かしチューブ&シャトル アッセンブリーが左右に軽く動くことを確認して下さい、動きが悪い場合は柔らかい布で清掃してください。  
それでも動きが悪い場合や、まったく動かない場合、隙間が大きくなっている場合は交換して下さい。

(正常品はほとんど「ガタつき」はありません。)



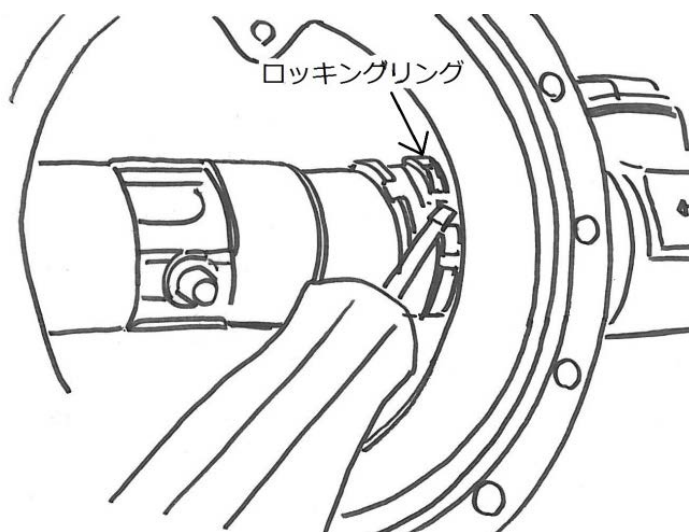
## 手順 5

・スリーブ&ライナーアッセンブリー交換方法。



①手順1の順序でカバーを外して下さい。

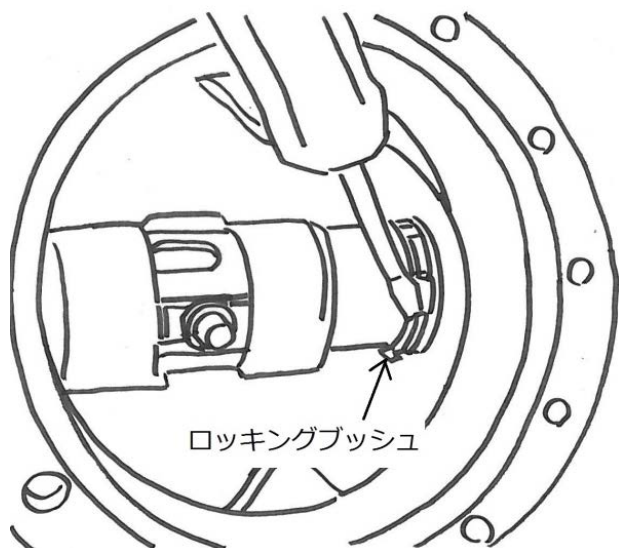
②内部レバーを取り外して下さい。



③ロックリングをマイナス貫通ドライバー・ハンマーなどを使って反時計方向へ回して緩めて下さい。

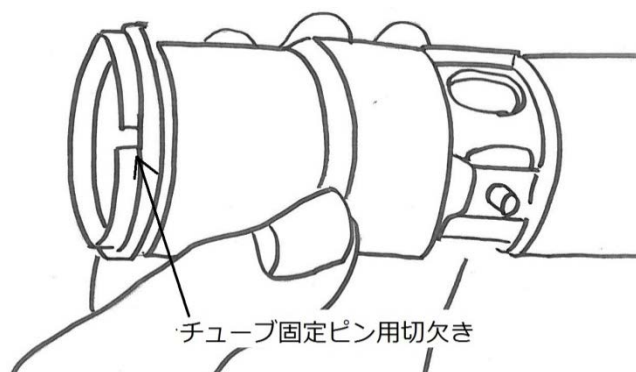
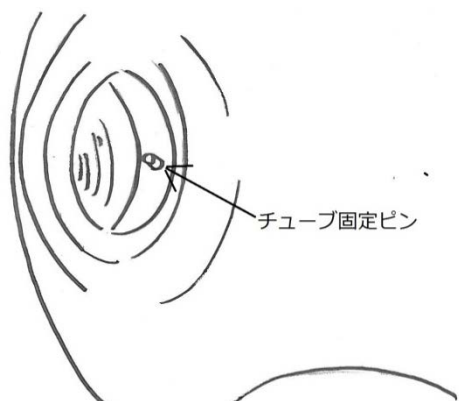
(左方向へネジの根本まで送る要領で回して下さい)

④ ③でロックリングをロックブッシュの根元まで送り込んだ後、ロックブッシュを同じ要領で時計方向へ回しボディへねじ込むように回してチューブ&シャトルアッセンブリーを外して下さい。

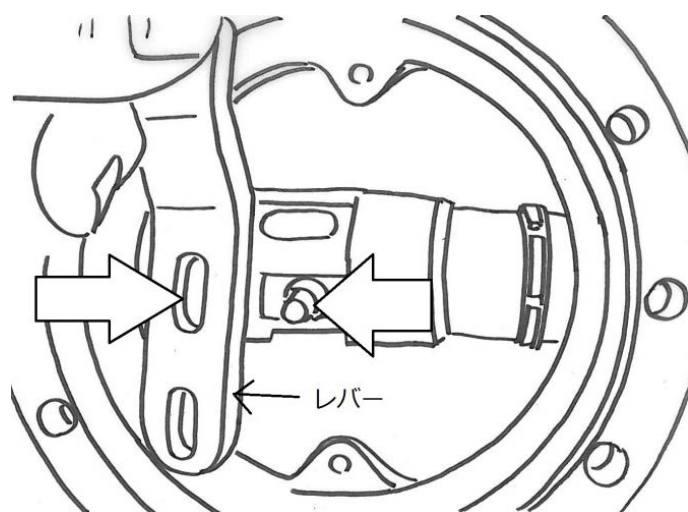


⑤ボディ内部を柔らかい布で清掃後、新しいチューブ&シャトルアッセンブリーにある固定ピンの切欠きとボディ内部にあるチューブ固定ピンをセットしボディ給水側にあるロックブッシュをチューブがしっかり固定するまで反時計方向に回して下さい。

そしてロックブッシュ緩み止用ロックリングを時計方向に回し固定して下さい。



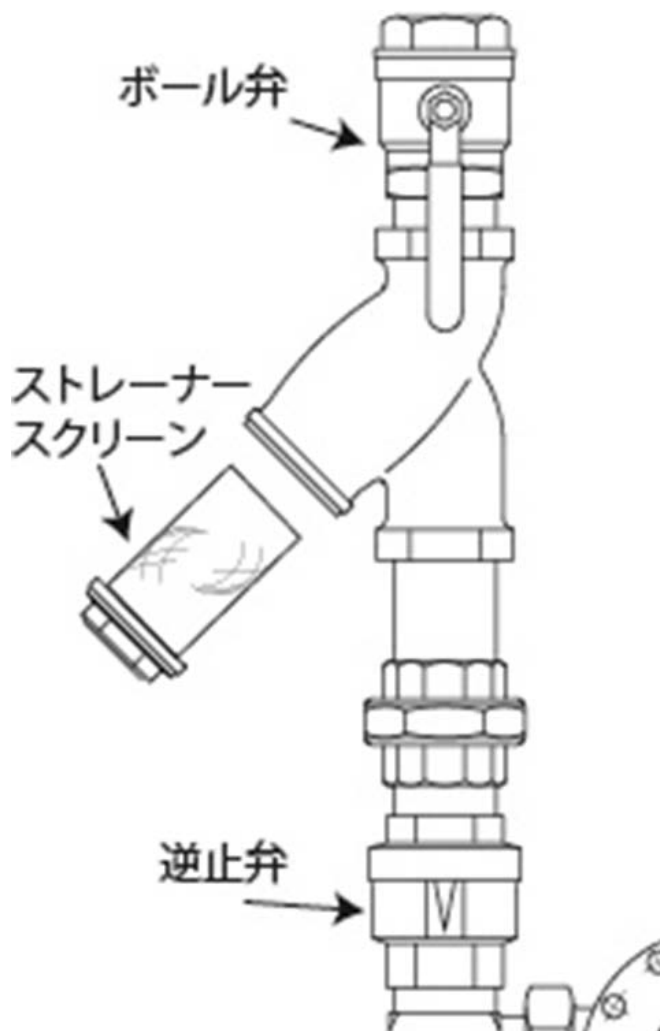
⑥内部レバーを取り付けて下さい。  
内部レバーの中央部にある穴とシャトルのピンがはまる様にセットして下さい。  
装着後指先で軽く左右に稼働するか確認して下さい。



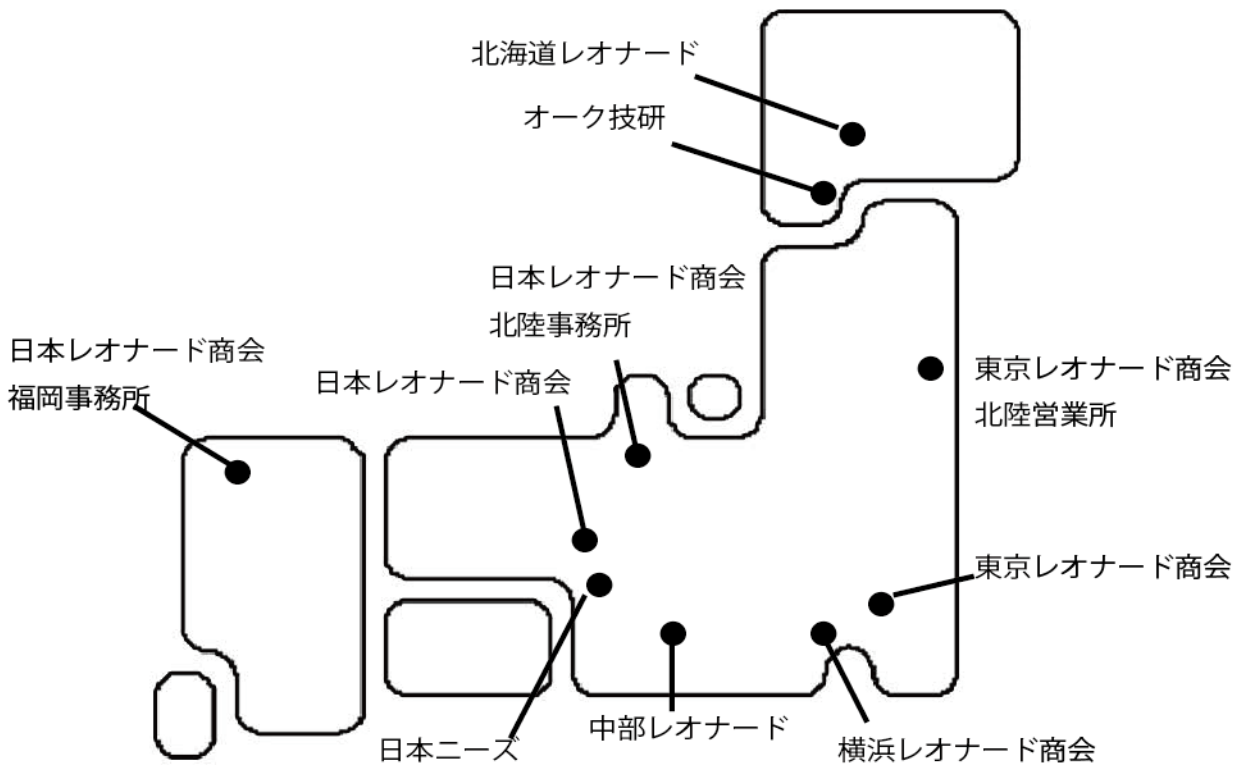
⑦手順2・手順3の順番に組立後、試運転を行って下さい。

## 手順 6

### ・ 逆止弁の逆流確認方法。



- ①給湯・給水のメンテナンスバルブを閉めユニット内の残圧を取り除いて下さい。
- ②ストレーナーのキャップを片側のみ外して下さい。
- ③温水出口のバルブを閉じて下さい。
- ④外したキャップの反対側のメンテナンスバルブを少しずつ開けてください。
- ⑤全開にしても外したストレーナーから漏れ出さなければ、逆止弁機能は正常です。
- ⑥漏れ出すことがあれば、逆止弁が逆流しています。  
新しい物と交換して下さい。



## (株) 日本レオナード商会

TEL 06-6336-0321 FAX 06-6336-5129

<http://www.japan-leonardo.co.jp>

(有) 北海道レオナード	TEL011-898-1096	FAX011-898-1107
(有) オーク技研	TEL0138-56-1131	FAX0138-56-1187
(株) 東京レオナード商会	TEL03-5952-5788	FAX03-5952-5586
(株) 東京レオナード商会		
●さいたまセンター	TLE048-866-0711	FAX048-866-2160
●東北営業所	TEL022-384-8305	FAX022-384-8306
(株) 横浜レオナード商会	TEL045-982-2551	FAX045-982-2440
(株) 中部レオナード	TEL0568-81-6734	FAX0568-81-6702
(株) 日本ニーズ	TEL06-6444-1300	FAX06-6444-1569
(株) 日本レオナード商会	TEL06-6336-0321	FAX06-6336-5129
●北陸事務所	TEL076-268-7501	FAX076-268-8204
●福岡事務所	TEL092-511-2733	FAX092-553-2313